

## 第4回教育研究評議会記録

日 時 平成24年6月13日（水）13：30～15：10

場 所 柏原キャンパス事務局棟 大会議室

出席者 長尾, 栗林, 若井, 越桐, 成山, 野田, 横井, 石田, 高橋, 田中, 向井, 伊藤,  
入口, 鈴木, 久田, 安部, 辻岡, 土井, 横山, 大脇, 林, 吉田（22名）

傍聴人 山近博義教授

開会に先立ち、長尾学長から平成24年度第3回教育研究評議会の記録確認がなされた。引き続いて、長尾学長から議事の進め方については開催通知の順番に進める旨の発言がなされ、傍聴申請があった1名に対して議題（1）以外の傍聴が認められた。

議題（1）平成25年度教員採用計画について

長尾学長から資料に基づき説明が行われ、質疑応答の結果、原案どおり了承された。

### 【主な質疑】

- ・ 欧米言語文化講座の採用計画について、ネイティブスピーカーの採用であるが、海外に公募するののかとの質疑に対して、そう聞いているとの答弁が長尾学長よりなされた。
- ・ 実践学校教育講座の採用計画について、書類を見ただけでは教員養成課程との協力体制がどこまで協議されているのか分からず、また学長が口頭で説明されていた教科教育3名などの整備方針の記載もなく、書類として不備があるのではないのかとの質疑に対して、協力体制についてはお互いにコミュニケーションをとりながら行っている。また教科教育3名とは私の心積りの話であり、成文化されるものではないとの答弁が長尾学長よりなされた。
- ・ 実践学校教育講座の採用計画について、採用計画書では教員養成課程で担当する科目は初等理科教育法1科目のみとなっているが、他の授業や卒業研究等の担当などは講座間で話し合ったのかとの質疑について、採用後、講座間、部局間で話し合ってもらう話であり、採用計画書に記載する方がイレギュラーであるとの答弁が長尾学長よりなされた。
- ・ 実践学校教育講座の採用計画に対する質疑・発言に関して、教員養成課程と第二部との間で協議があり、教員養成課程からお願いをし、受けるかどうかは部局の判断に委ねたとの発言が石田教員養成課程長よりなされた。

議題（2）大学院教育学研究科（修士課程）入学試験の合否判定基準について

横井副学長から資料に基づき説明が行われ、原案どおり了承された。

議題（3）平成27年度学部入学試験に関する基本方針について

平成27年度にセンター試験の科目等に変更があるため、少し早い基本方針として提案しているとの発言が長尾学長よりなされ、また入試センターより大学入試センター試験の出題教科・科目等について変更の可能性がある旨の連絡を受けていることが申し添えられた。その後、横井副学長から資料に基づき説明が行われ、更に長尾学長より、出題教科、科目等の変更があった際の取り扱いについては、再度教育研究評議会にお諮りすると日程的にも厳しい状況になるので、学長の判断により基本方針の修正を行い、教育研究評議会には事後承認していただく形をとりたいとの補足説明がなされ、質疑応答の結果、原案どおり了承された。

### 【主な質疑】

- ・ 基本方針の公表について、2年前に公表ということでできるだけ早く行いたかったが、現状のペースでいくと最速9月くらいになるとの発言が鈴木学長補佐よりなされた。

- ・ 出題教科・科目等に変更があり得るとするのは、特にどこに関連してかとの質疑に対して、大学入試センターからの通知文の文脈からいうと平成24年度の検証を踏まえてということなので、昨年度の問題点を解消するための変更であろうと推測するしかないとの発言が長尾学長よりなされた。
- ・ 大学入試センターから公表された出題科目の選択方法について、国大協のガイドラインで公平性の確保が困難になるとの言葉が使われているが、その点が今回の基本方針に反映されていないと思うのだが、どういった議論がなされたのかとの質疑に対して、大学入試センターが認めているものを不公平と断定すると、センター試験のありよう自体に大きな批判を投げかけることになりかねないとの答弁が横井副学長よりなされた。
- ・ 国大協が敢えて不公平という旨の言葉を使いガイドラインを示していることは事実であるので、どこがどのように不公平なのか議論は行われたのか。また、議論を行った上で敢えてガイドラインに沿わない基本方針を打ち出したのかとの質疑に対して、議論は行ったが、他大学の状況を見つづ、本学の志願者数の動向の予測も行った結果、本学の取るべき対応は今回基本方針で示したとおりであると入学試験等企画委員会で審議したとの答弁が横井副学長よりなされた。
- ・ 志願者についても議論をする必要があるのか。本来アドミッション・ポリシーで決定されるものではないのかとの質疑に対して、アドミッション・ポリシーについてはそのとおりである。強い希望があった際には、アドミッション・ポリシーに則って選択の自由を認めるべきであるので、素案に付け加えたとの答弁が横井副学長よりなされた。
- ・ 国大協はガイドラインを示した後、これを取り下げ、他に何か示しているのかとの質疑に対して、何も示されていないとの答弁が横井副学長よりなされた。
- ・ 本学の方針は国大協のガイドラインに従っていないのかとの質疑に対して、出題科目の選択方法について国大協の指針とは若干のずれがあるが、大学入試センターでは認められている選択方法であるので、入学試験等企画委員会で議論し、本学としては、今回の基本方針にある選択方法で良からうとの結論を得たとの答弁が横井副学長よりなされた。
- ・ つまり、本学の基本方針にある出題科目の選択方法は大学入試センターでは是とするが、国大協の方針とは若干ずれると思っているということかとの質疑に対して、国大協のガイドラインの拘束力に言及すると、それなりにあるとしても、大学の自主的な判断が優先され、その辺りは国大協も十分理解しているとの答弁が長尾学長よりなされた。
- ・ 大学のアドミッション・ポリシーに則って決めればよいのだが、国大協が敢えて不公平という言葉を使ってガイドラインを出している以上、どういう不公平が起きるのかを含めて議論をしっかりと行ったのかとの質疑に対して、行ったとの答弁が横井副学長よりなされた。
- ・ 基本方針の変更があったとしても再度教育研究評議会を開催せずに、学長が決定した上で教育研究評議会については事後承認とするというのは、入学試験等企画委員会の判断か、それとも学長の判断かとの質疑に対して、入学試験等企画委員会の意を踏まえて、私と副学長で判断したとの答弁が長尾学長よりなされた。

#### 議題（４）大阪教育大学におけるダブル・ディグリー導入・実施の基本方針（案）について

長尾学長及び栗林理事・副学長から資料に基づき説明が行われ、更に野田副学長から補足説明がなされ、質疑応答の結果、原案どおり了承された。

#### 【主な質疑】

- ・ 派遣元の大学と派遣先の大学で修士論文は別の内容のものと教務委員会で説明を受けたが、それで良いかとの質疑に対して、基本的には別物であるとの答弁が栗林副学長からなされた。
- ・ 基本的とはどういうことかとの質疑に対して、例えばある大学で論文を提出し、別の大学で日本語に置き換えて提出し学位を得るというようなことではなく、それぞれの大学で研究指導を受けているわけで、その研究指導に基づいた学位ということになるので、当然論文は異なってくる。そういう意味で別物であるとの答弁が栗林理事・副学長よりなされた。
- ・ それは問題にならないかとの質疑に対して、問題にならないとの答弁が栗林理事・副学長よりなされた。

#### 議題（５）平成２３事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

長尾学長から資料に基づき説明が行われ、質疑応答の結果、原案どおり了承された。

#### 【主な質疑】

- ・ 中期計画で５％以上の削減となっているところ、１５．３％の削減ということで、大幅に超えているので、例えば、若手教員の教授昇任の数をもう少し増やして欲しいとの要望に対して、抑制しているつもりはないとの答弁が長尾学長よりなされた。
- ・ ４５歳くらいで業績があれば昇任できるように考慮して欲しいとの要望に対して、教員養成課程では一定の基準を作っていたらいいとの答弁が長尾学長よりなされた。
- ・ 学士力をベースにした教員形成を目指す教育システム開発について、部局長からの意見として記載したらどうかと意見書を出したことで記載いただいたのかとの質疑に対して、そのとおりであるとの答弁が長尾学長よりなされた。
- ・ 中期目標で人件費５％削減とあるがこれは年度比かとの質疑に対して、中期目標で言っているのは５年間で５％以上削減を確保するものであるとの答弁が栗林理事・副学長からなされた。

#### 報告事項（１）オープンキャンパスの実施について

横井副学長から資料に基づき報告がなされた。

#### 報告事項（２）入試情報（試験問題）の開示について

横井副学長から資料に基づき報告がなされた。

#### 報告事項（３）その他

##### １）平成２５年度学部入学試験（後期日程）の試験期日について

横井副学長より報告がなされた。

議題及び報告事項の終了後、長尾学長より、先に新聞報道された国家戦略会議の社会の期待に応える教育改革の推進、あるいは大学改革実行プランについては、今週金曜日の教大協評議員会、来週月曜日の国大協総会以降にそれらを踏まえて報告する。また京阪奈三教育大学、教員養成の高度化支援システムの構築（HATOプロジェクト）の国立大学改革強化推進事業の獲得について、その結果が次回の教育研究評議会までには分かっていると思われるので、分かり次第報告するとの発言がなされた。

以上